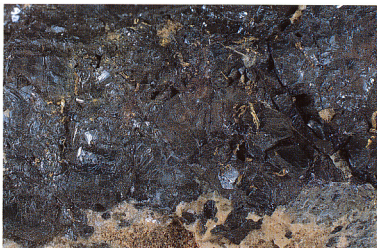


地質標本館所蔵標本 Geological Museum Collection

「木下標本」(I) 元素鉱物 Kinoshita Collection (I) Elements

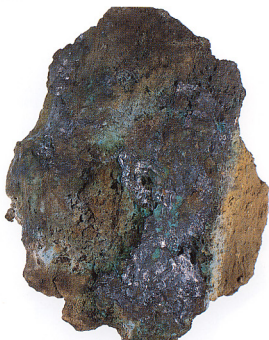
「木下標本」は九州大学名誉教授 木下亀城氏 (1896~1974) によって収集された鉱物標本である。総点数は約 1600 点、我国の主要な金属鉱山産の鉱石鉱物が網羅されている。また、九州地域の長垂、木浦、尾平、土呂久等の著名な鉱物産地の標本も多く含まれている。これらの標本は単に標本館に展示、保存されるばかりでなく、新しい見地からの研究対象として利用されたり、標準鉱物標本として所内外の研究者によって利用されている。



1. 自然金 (Native gold) : Au
埼玉県秩父郡大滝村秩父鉱山
スカルン鉱床の鉄に富む黑色の閃亜鉛鉱
中に紐状をなす, (GSJ M 12321) × 2



2. 自然金 (Native gold) : Au
鹿児島県薩摩郡薩摩町山ヶ野鉱山
浅熱水性金銀鉱床の石英の細脈中に苔状又は薄い紐
状の集合をなす, (GSJ M 12529) × 1.5



3. 自然銀 (Native silver) : Ag
山口県美祿市於福大和鉱山
スカルン鉱床の酸化帯に、孔雀石、赤銅鉱等の銅の二次
鉱物をともなう鉱石の割目に薄板状をなす,
(GSJ M 12923) × 1



4. 自然銅 (Native copper) : Cu
秋田県鹿角市尾去沢鉱山
浅熱水性銅・鉛・亜鉛鉱床の酸化
帯に産したもので板状又は樹枝状
をなす。(GSJ M 30339) × 1



5. 自然着鉛 (Native bismuth) : Bi
兵庫県養父郡大屋町明延鉱山
銅・鉛・亜鉛・錫・タングステン等
をともなう多金属鉱床の石英脈中に
底面劈開の著しい塊状結晶をなす。
(GSJ M 12325) × 1



6. 自然着鉛 (Native bismuth) : Bi
栃木県上都賀郡足尾町尾尾鉱山
チャート中の石英脈中に石英の空隙を充たして劈開
の著しい結晶の集合をなす。(GSJ M 12324) × 1



7. 自然砒 (Native arsenic) : As
大分県速見郡山香町日野地鉱山
浅熱水性金銀鉱床の石英脈中に葡萄状集合をなし同
心層状構造を示す。(GSJ M 30335) × 2